

1. 北陸道路舗装会議開催概要

北陸道路舗装会議は、北陸地方における舗装技術の発展と積雪寒冷地における舗装技術の研鑽の場として、昭和54年から3年毎に開催し、今回で**第13回目**を迎え、**960名**の方が参加。

本会議では、「産・学・官」の垣根を越え、舗装技術に関する研究課題を題材にした報文発表のほか、「**インフラ分野の国際協力と海外戦略**」を演題とした記念講演、「暮らしを支えるみちと技術者～日本を救う北陸の知恵と技～」をテーマとした**パネルディスカッション**を開催。

また、パネルディスカッションには、**新潟県内土木系高校生112名**を招き、北陸で生まれた技術に関する知識を高めていただくとともに、日本の将来を担う若手技術者としての意識高揚を図る場として提供。

開催期間：平成27年6月3日(水)13時～6月4日(木)16時10分
会場：ANAクラウンプラザホテル新潟(新潟市中央区万代5-11-20)

第13回
北陸道路舗装会議
平成27年
6月3日～6月4日
ANA
クラウンプラザホテル新潟
新潟市中央区万代5-11-20

●記念講演 会場 無料
平成27年6月3日(水) 13:40～14:20
演題「インフラ分野の国際協力と海外戦略」
講演者 国土交通省道路局次長(兼)次長 山田 雅 支 氏

●報文発表 会場 3,000円(送料別)
平成27年6月3日(水) 14:30～17:40
平成27年6月4日(木) 10:00～12:00
●パネルディスカッション 会場 無料
平成27年6月4日(木) 13:00～15:30
テーマ「暮らしを支えるみちと技術者」
～日本を救う北陸の知恵と技～
座長 新潟大学工学部教授 大川 秀雄 氏

●申込方法
申込先 ANAクラウンプラザホテル新潟(〒951-8501 新潟市中央区万代5-11-20)
TEL 025-274-1111 FAX 025-274-1112
E-MAIL info@ana-cpr.com
申込期間 平成27年5月20日(水)～5月29日(金) 15時迄
申込料 申込料 500円(送料別)

主催：北陸道路舗装会議実行委員会
協賛：国土交通省道路局、新潟県、新潟市、新潟県土木系協会、新潟県建設業協会、新潟県建設業協会北陸支部、新潟県建設業協会新潟支部、新潟県建設業協会富山支部、新潟県建設業協会石川支部、新潟県建設業協会福井支部、新潟県建設業協会長野支部、新潟県建設業協会岐阜支部、新潟県建設業協会愛知支部、新潟県建設業協会静岡支部、新潟県建設業協会山梨支部、新潟県建設業協会長野支部、新潟県建設業協会岐阜支部、新潟県建設業協会愛知支部、新潟県建設業協会静岡支部、新潟県建設業協会山梨支部

広報用リーフレット

2. パネルディスカッション

●開催日時：平成27年6月4日(木)13時～15時30分(2.5h)

座長 **大川 秀雄**
放送大学 新潟学習センター所長

パネリスト **辻 保人**
北陸地方整備局 道路部長

パネリスト **瀬戸 民枝**
新潟県 新潟地域整備部 計画調整課長

パネリスト **丸山 結香**
(有)MAX・ZEN 代表取締役

パネリスト **赤池 利孝**
(一社)日本道路建設業協会 北陸支部 幹事長

第13回
北陸道路舗装会議 **パネルディスカッション**
参加費 無料

テーマ「暮らしを支えるみちと技術者」
～日本を救う北陸の知恵と技～

座長 新潟大学工学部教授 大川 秀雄 氏

日 時：平成27年6月4日(木)13時～15時30分
会 場：ANAクラウンプラザホテル新潟
新潟市中央区万代5-11-20
主催：北陸道路舗装会議実行委員会

～ 座長・パネリスト紹介 ～

座長 大川 秀雄 氏
新潟大学 工学部教授
放送大学 新潟学習センター所長

パネリスト

辻 保人 氏
北陸地方整備局 道路部長

瀬戸 民枝 氏
新潟県 新潟地域整備部 計画調整課長

丸山 結香 氏
(有)MAX・ZEN 代表取締役

赤池 利孝 氏
(一社)日本道路建設業協会 北陸支部 幹事長

広報用リーフレット

3. パネル概要

「暮らしを支えるみちと技術者」
～日本を救う北陸の知恵と技～

雪国(北陸)がこれまでに培ってきた先人たちの知恵、習慣、知識、ノウハウを、雪害経験の少ない地域でも活用が期待でき、さらには、雪国の知恵や技術が日本を救うという視点で、「雪国の(安全で持続性のある)くらしやみちはどうあるべきか」を座長がパネリストをコーディネート。

また、建設業界が抱える課題(技術者の高齢化・人材不足)や若手技術者の雇用・育成に関する取り組みについても、日本の将来を担う高校生らに紹介するとともに、経営者の意識改革(ボス育)の必要性等についてもディスカッション。

- 新潟県立新潟工業高校 37名
 - 新潟県立高田農業高校 39名
 - 新潟県立県央工業高校 36名
- 計3校112名が参加

4. 実施写真



パネルディスカッション風景



聴講する高校生